

吉永 郁生

YOSHINAGA, Ikuo



教授

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境情報学研究科環境情報学専攻 (社会環境学領域)

Profile

■**主な担当科目** 海洋環境学概論, 自然環境保全実習・演習 I, 自然環境保全概論

■**研究者略歴**

1981 (昭和56) 年 3月	奈良県立奈良高校普通科卒業
1981 (昭和56) 年 4月	京都大学農学部水産学科入学
1985 (昭和60) 年 4月	京都大学大学院農学研究科修士課程水産学専攻入学
1987 (昭和62) 年 4月	京都大学大学院農学研究科博士後期課程水産学専攻進学
1990 (平成 2) 年 5月	同上退学、京都大学農学部助手
1991 (平成 3) 年 5月	京都大学農学博士学位取得
1996 (平成 8) 年 9月	文部省在外研究員としてアメリカ合衆国オレゴン州立大学に留学 (～1997年7月)
2007 (平成19) 年 4月	京都大学大学院農学研究科助教
2013 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学環境学部教授・大学院情報学研究科環境情報学専攻教授

Research

■**取得学位** 農学博士 (京都大学)

■**専門分野** 海洋微生物学, 微生物生態学

■**現在の研究テーマ** ・硝化、脱窒、アナモックスなど、水域の窒素循環に関わる微生物の研究
 ・赤潮を殺滅する細菌の研究
 ・東日本大震災で被害を受けた沿岸海域の復興過程の微生物学的研究
 ・汽水域の微生物の研究 ・有明海再生のための提言

■**受賞歴** 1997年4月 水産学会奨励賞 (1997年)

■**所属学会** 微生物生態学会, 水産学会, 農芸化学会, マリンバイオテクノロジー学会, 藻類学会

■**資格** 衛生管理者

Data

■**研究等活動**

【**著書**】

- ・「海の環境微生物学-増補改訂版」(共著)、2011年、恒星社厚生閣
- ・「難培養微生物研究の最新技術 II—ゲノム解析を中心とした最前線と将来展望— (Current Technology and Perspectives for Yet-uncultivated Microbial Resources)」(共著)、2010年、シーエムシー出版
- ・「微生物ってなに?—もっと知ろう!身近な生命」(共著)、2006年、日科技連
- ・「地球環境調査計測事典第3巻沿岸域編」(共著)、2003年、フジテクノシステム

【**論文**】

- ・「津波の海に生きる未来創生—気仙沼舞根湾調査」(共著)、2012年、『海洋と生物』203号、生物研究社
- ・「シャットネラ殺藻細菌の扶育場としてのバイオフィルム」、2012年、日本水産学会誌
- ・「環境中の窒素の循環とあらたな経路としてのアナモックス」(共著)、2012年、日本水産学会誌
- ・「和歌山県下芳養湾における海水中およびアオサに付着する赤潮藻殺藻細菌の分布」(共著)、2012年、北海道大学水産科学研究彙報
- ・「Complete Genome Sequence of Bradyrhizobium sp. S23321: Insights into Symbiosis Evolution in Soil Oligotrophs」(共著)、2012年、Microb. Environ.
- ・「Detection of Anammox Activity and 16S rRNA Genes in Ravine Paddy Field Soil.」(共著)、2012年、Microb. Environ.
- ・「Evidence of Exponential Growth of an Anammox Population in an Anaerobic Batch Culture.」(共著)、2012年、Microb. Environ.
- ・「Diversity of anaerobic ammonium oxidation (anammox) bacteria in the sediment of a eutrophic freshwater lake.」(共著)、2011年、Microb. Environ.
- ・「Algicidal bacteria in particle-associated form and in free-living form during a diatom bloom in the Seto Inland Sea, Japan.」(共著)、2010年、Aquat. Microb. Ecol.
- ・「環境中のアナモックス細菌と窒素循環—明らかになってきた多様なアナモックス細菌群集の存在と棲み分け—」(共著)、2009年、化学と生物
- ・「環境を浄化する細菌—自然環境中のアナモックス細菌を探し出せ!」(共著)、2008年、Biophilia
- ・「窒素と通貨のアナロジー」2008年、現代科学

【**報告書**】

- ・「自然機能を活用した流出油の分解過程の解明-人工漂着油分解過程の細菌相調査」(共著)、2003年、生物的油濁処理技術開発・効果的利用検討事業報告書、財団法人漁場油濁被害救済基金

■**社会貢献活動**

- ・NPO法人「SPERA森里海・時代を拓く」理事
- ・出前授業 (京都市教育委員会) (西城陽虫学校、東城陽虫学校、三室戸小学校など) 講師
- ・市民向けシンポジウム「東日本大震災後の海の復興過程」シンポジスト
- ・シニア自然大学 (大阪市、朝日新聞社後援)「水の講座」講師